



出雲街道つやまこども寄席

ゲラゲラ・ケタケタ・大爆笑

8月24日 作州城東屋敷

昔の芝居小屋の雰囲気や江戸言葉を味わってもらおうと津山文化振興財団が初めて企画。

一番太鼓が鳴った後、落語のおもしろ解説が始まると子どもたちは徐々に笑いの世界に。取りを務めた桂平治さんの「牛ほめ」では与太郎と叔父のとんちんかんな掛け合いに腹を抱えて大爆笑。

大前さくらさん（高野小2年）は「お父さんが落語が好きで連れてきてくれた。生の落語は初めてでとてもおもしろかった」と大満足の様子でした。



子どもミュージカル「ヘンゼルとグレーテル」 キラリと輝く子どもたち

8月22日 勝北文化センター

前回3月の公演からさらに内容を深めた今回は、進行役のフクロウが登場するなど、演出もパワーアップ。総勢35人の子どもたちは舞台狭しと歌い踊り、はつらつとした演技を披露しました。

ヘンゼルとグレーテルがお菓子を食べるシーンでは、歌詞の中にご当地グルメが登場するなど郷土色も満載。フィナーレでは客席から自然と手拍子が起こり、客席と舞台とが一体となった公演は最後まで拍手が鳴りやみませんでした。

一日消防士体験入署／消防・防災展

我が家の備えは大丈夫？

8月21日 津山圏域消防組合消防本部

8月27～29日 イオン津山ショッピングセンター



小学生を対象とした一日消防士体験が行われ、市内の少年消防クラブを中心に47人のちびっこ消防士が参加。ポンプ車からの放水訓練やはしご車の搭乗体験、地震・火災時の避難訓練、防火学習などを行いました。参加者の中には消防士を目指す中学生や高校生もいて、真剣な表情で取り組んでいました。

杉本貴くん（林田小4年）は「防火服が重かったけど体験できてよかった。消防士さんの仕事は大変だなと思った」と昼食で出された炊き出しのカレーをほお張りながら話してくれました。

また、防災週間にちなんで開催された消防・防災展では、市・美作県民局・津山圏域消防組合・自衛隊が展示・体験ブースを設置。日頃から災害に備えることの大切さを呼び掛けました。体験コーナーでは消防職員からAED（自動体外式除細動器）の使い方を教わる小学生もいて貴重な体験となりました。

B-1グランプリ in 厚木

全国に津山をアピール

9月18・19日 神奈川県

全国から46団体が参加したB級ご当地グルメの祭典に約43万5千人が訪れました。

去年に引き続き出場した津山ホルモンうどん研究会は「津山を厚木に持ってきた」をコンセプトに、昔、津山にあったお店の雰囲気を再現した屋台を登場させ、2日間で約1万2千食を提供。見事、第4位に入賞しました。

横浜市から訪れた伊藤雅淑さんは「ホルモンも軟らかく、タレもうどんに合っていてとてもおいしいです」と満足そうに話し、ほかにも「今度は津山で食べてみたい」などの声も聞かれました。



岡山県人権啓発 ハートフル講座「重松清」講演会 ふとした言葉に気を付けて

8月29日 津山市総合福祉会館

津山市（旧久米町）出身の直木賞作家、重松清さんによる人権啓発講演会が行われました。

重松さんは「人は悪気なく自分の正しいと思うことを押し付け、人を傷付けてしまうことがある」と前置きし、一人ひとりの価値観が多様化する中「相手の心を思いやる想像力のある言葉を使うことが大切。小説など本を読むことで自身では経験できない幅広い人生観が身につく」と語りました。定員を上回る360人の参加者は、時にうなずきながら熱心に聞き入っていました。

道路ふれあい月間 第21回道路清掃

市民の力で、街をきれいに

8月22日 市内幹線道路ほか

8月の「道路ふれあい月間」にちなんで毎年行われている道路清掃。地元町内会の皆さんや企業・団体からのボランティアなど約1,600人が参加。市内幹線道路の新錦橋押入線や鶴山通りなど約16キロで一斉に草刈りやゴミ拾い、街路樹の剪定などを行い、約6トンのゴミを回収しました。

また、岡山県建設業協会の協力により道路清掃車での清掃作業も実施されました。

このほか、市内各町内会でもクリーン作戦が実施され、地域の環境美化に取り組みました。参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。



市民と市長との地域懇談会

地域に出向いて、お話し伺います

8月21日 勝北支所・22日 院庄公民館

市長と市民とがひびきを交えて話し合う地域懇談会。津山市連合町内会の支部ごとに開催し、8月には勝北地域全支部、二宮・院庄・田邑支部（3支部合同開催）を対象に行いました。

懇談では、地域の課題や新クリーンセンター建設など市政全般の課題などについて話し合わせ市民の皆さんから率直な意見が出されました。

今後も継続して、懇談を希望する連合町内会支部で実施していきます。